

平成 27 年産 紀南の梅産地情報

15/04/30

1. 4月23日の定点着果調査では、小梅の着果数は前年・平年並みであった。古城の着果数は前年・平年より少なかった。主力の南高の着果数は前年より少なく、平年よりやや少なかった。



定点調査の着果数（枝径2㍉の枝当たり）と着果率

品 種	平年 (H17~26)		平成 26 年		平成 27 年			
	着果率	着果数	着果率	着果数	着果率	着果数	平年比	前年比
小 梅	29.3%	111	27.9%	122	31.6%	120	108%	99%
古 城	5.7%	20	6.4%	22	4.2%	14	71%	64%
南 高	12.2%	42	14.9%	50	10.2%	36	86%	73%
在来系	12.7%	40	17.8%	33	8.0%	19	47%	57%

2. 4月25日時点の実肥りは、小梅 15.0mm（平年比 101.3%）、古城 24.9mm（平年比 106.4%）、南高 25.0mm（平年比 101.6%）とほぼ平年並みとなっている。
3. 4月30日梅部会まとめの生産予想量は、小梅 857 トン（前年比 120%、平年比 96%）、古城 642 トン（前年比 93%、平年比 74%）、南高 22,422 トン（前年比 82%、平年比 94%）、在来系 381 トン（前年比 64%、平年比 59%）を見込んでいる。生産量は今後の気象等により変動することがある。
4. 出荷販売時期は、現時点で小梅は5月中旬頃から、古城は5月下旬頃から、南高では5月末頃からを予定している。
5. 結実後の気温は、3月上旬以降平年より高めで推移している。降水量は前年・平年に比べ多くなっている。4月上・中旬の多雨・強風の影響で、灰色かび病、かいよう病、スレ傷の発生が見られる。

月 旬	平均気温 °C				降水量 mm			
	平年	25 年	26 年	27 年	平年	25 年	26 年	27 年
3 月下旬	10.8	13.0	13.4	12.7	46.9	13.0	57.5	11.0
4 月上旬	13.1	14.2	12.6	15.4	46.6	41.5	2.5	97.0
4 月中旬	15.1	14.1	14.5	16.5	54.6	7.5	26.0	71.5

南紀白浜気象データより（平年は白浜気象データ）